大滝ダム貯水池内における 赤茶褐色の湖面の分析結果 (第2報)

〇8月21日、大滝ダム貯水池内で確認された赤茶褐色の湖面の変色について、分析の結果、渦鞭毛藻綱ペリジニウム*1であることが特定されました。

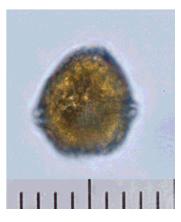
(別紙1に採水箇所、プランクトン同定試験結果を示します)

○渦鞭毛藻綱 ペリジニウムは植物プランクトンの一種であり、各地の湖沼や池に広く分布し、冷水期に出現して赤潮を形成することもあります。おおよそ、表層水温が15℃前後の時期より出現しはじめ、24℃以上になると消滅します。毒性やカビ臭の報告はなく、人体に影響はありません。

〇今日(平成27年8月24日13時30分現在)においては、赤潮が消失していることを確認しました。

* 1:原因種は渦鞭毛藻綱 Peridinium penardiiでした。

Peridinium penardiiは、2本の鞭毛で遊泳し、集積して赤潮現象を引き起こすことがある。ただし遊泳力は強くないので、水の流れや風などによって拡散すると、赤潮状態は解消される。細胞の形態は、背腹に扁平な球形ないし卵形である。鎧板(殻)はうすく、表面には小孔や点模様が散在している。





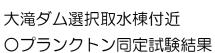
*1:渦鞭毛藻綱 ペリジニウム

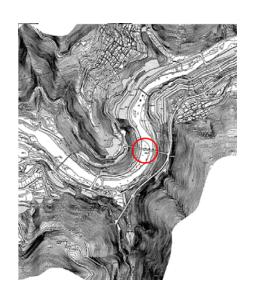
※ 1目盛=10μm

別紙1

○採水箇所







白谷橋付近

	堰名	大滝ダム		調査年(西暦) 2	015年
	堰コード				
1	調査コード				
2	調査地点			白屋橋上流	選択取水 位置付近
3	採水位置			表層	表層
4	全水深	m		-	_
5	調査月			8	8
6	調査日			21	21
7	調査開始時刻:時24時間制			_	_
8	調査開始時刻:分			_	_
9	天候			_	_
10	気温	${\mathbb C}$		_	_
18	採水水深	m		_	_
20	透視度 (河川)	cm		_	_
21	外観			_	_
22	臭気 (冷時)			_	_
綱名	科名	種名 (学名)			
クリプト藻	Cryptomonadaceae	Cryptomonas sp.		+	+
渦鞭毛藻	Peridiniaceae	Peridinium bipes		+	+
		Peridinium sp.		+	+
珪藻	Naviculaceae	Cymbella sp.		+	
	Nitzschiaceae	Nitzschia sp.		+	+
緑藻	Volvocaceae	Eudorina sp.		+	
	Oocystaceae	Ankistrodesmus sp.			+

凡例: + 少ない、 ++ 多い、 +++ 非常に多い